

平成28年度

事務事業評価表 A（平成27年度の実績評価）

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		介護給付事務事業				事業区分			担当	
						新規/継続			事務事業No. 020604000039	
		政策体系上の位置付け				単独/補助			040601	
総合計画の施策名		O206 高齢者福祉の推進				主要事業			対象外	
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト			対象外	
施策名		06 高齢者福祉の推進				未来PJ事業			対象外	
基本事業名		04 介護サービスの充実と介護保険の適正運営				合併建設計画事業			対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			グループ 介護保険グループ	
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計		単年度繰返し（平成12年度～）	
	06	02	01	01	01	00	居宅介護サービス給付事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	
法令根拠		介護保険法								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手段		①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順								
		介護保険法に基づき、介護サービスを受けた利用者へ介護保険適用分を給付する	現物給付 茨城県国民健康保険団体連合会への支払 償還払い 住宅改修、特定福祉用具購入等の介護保険サービス利用者の申請の受付、審査及び支払								

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）		④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）	
介護保険サービス費の審査、支払及び受付等		介護保険計画における標準給付費		千円	3,726,480.00	3,548,495.00	3,676,177.00	3,956,203.00	4,257,559.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）		⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）	
介護保険サービス利用者の給付事務		標準給付費の実績及び目標値		千円	3,156,616.00	3,473,096.00	3,672,475.00	3,956,203.00	4,257,559.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）		⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）	
介護保険サービスの利用により、安心した生活と高齢者の自立を支援する		計画に対する実施率		%	84.71	97.88	99.89	100.00	100.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（3）投入量（事業費）の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度 （実績）		27年度 （実績）		28年度 （計画）		29年度 （目標）		30年度 （目標）		期間限定 総投入量
			金額	千円	金額	千円	金額	千円	金額	千円	金額	千円	
量	費	国庫支出金	千円	789,154	866,978	918,118	989,050	1,064,389	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	394,577	433,489	459,059	494,525	532,194	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	1,578,308	1,733,958	1,836,239	1,978,103	2,128,782	0	0	0	0	
		一般財源	千円	394,577	438,671	459,059	494,525	532,194	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,156,616	3,473,096	3,672,475	3,956,203	4,257,559	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人					
	述べ業務時間	時間	1,536.00	1,536.00	1,536.00	1,536.00	1,536.00	1,536.00					
量	費	人件費計(B)	千円	4,456	4,456	4,456	4,456	4,456					
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,161,072	3,477,552	3,676,931	3,960,659	4,262,015					

事業費の内訳	27年度事業費実績（千円）			28年度事業費予算（千円）		
	科目	金額	千円	科目	金額	千円
	14 使用料及び賃借料	1,080		14 使用料及び賃借料	912	
	19 負担金補助及び交付金	3,472,016		19 負担金補助及び交付金	3,671,563	
	合計	3,473,096		合計	3,672,475	

（4）当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	

事務事業名	介護給付事務事業	事務事業No.	20604000039	所属課	介護保険課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 高齢者福祉計画・介護保険事業計画は3年に1期とした、市町村計画を策定するよう介護保険法に定められている。第6期計画は、平成27年度から平成29年度までの3年間を対象とした計画策定となる。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 第6期計画のニーズ調査における高齢者施策の要望として、在宅サービスの充実と、医療と介護の連携による要介護者や家族に対するスムーズなサービスを望む方が多かった。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	介護保険法に規定する法定受託事務で結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	介護保険法に規定する介護サービス給付事業
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	介護保険法に規定する法定受託事務のため、向上の余地がない
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	介護保険法に規定する法定受託事務のため廃止等はできない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	介護保険法に規定する法定受託事務のため余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	介護保険法に規定する法定受託事務のため特になし
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	介護保険法に規定する法定受託事務のため公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑦																								
コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>